

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立高野小学校

担当教諭名 綿引 真由美

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年12月16日（水） 9:00 ～ 13:00
対象学年と人数	第5学年 129名（4クラス）
派遣講師名と出身国	リー・ペイリン マレーシア イスカンダル インドネシア ガライヤ エチオピア パク・セラシ 韓国
活動の内容	・あいさつ・自己紹介 ・地球環境ゲーム ・マレーシア、インドネシア、エチオピア、韓国の紹介 （自然環境、生活の様子、民族衣装、文化、学校、遊び、ゲームなど） ・講師の方とのふれあい給食
生徒・保護者等参加者の感想	○ 韓国語でのじゃんけんやあいさつの仕方、韓国の文化のことがよくわかりました。また、チマ・チョゴリを実際に着させてもらいうれしかったです。思ったより動きやすく 暖かいのに驚きました。（児童） ○ エチオピアのことは知らなかったけど、先生のお話を聞いてよく分かりました。また、エチオピアの子どもたちが描いた絵は、一つずつ工夫されていてびっくりしました。エチオピアの旗の色の意味を教えてくれてよくわかりました。 ○ マレーシアの給食やじゃんけんが日本と全然ちがいました。食堂で好きな物を買って食べることができるなんていいなと思いました。お正月も4回あってお年玉もたくさんもらえて少しうらやましいです。パンにアイスをはさんだ物を1回食べてみたいと思います。（児童） ○ インドネシアのお金の単位やじゃんけんの仕方など、ぼくの心の世界が一つ広がったような気がしました。インターネットで詳しく調べてみたら、ほかのインドネシアのことももっとよくわかりました。（児童）
先生の感想	4人の講師の先生を迎えるにあたって、子ども達はこの日をとても楽しみにしていました。 まず体育館では、全員で「地球環境ゲーム」を行いました。グループに1枚ずつ途上国の写真を配られ、それについて感想を持ったり自分たちがしてあげたいことを考えたりする活動を行いました。どの児童も真剣に考え、発表することができました。 各教室に分かれての先生方のお話は、自国について、図や写真、パワーポイントなどで説明してくださり、子ども達にもとても分かりやすかったです。韓国の

民族衣装も実際に見たり着たりすることができ、大喜びでした。

短い時間ではありましたが、外国の方々と触れ合い、様々な文化についての話を聞いたことは、子ども達にとって貴重な体験になったと思います。

